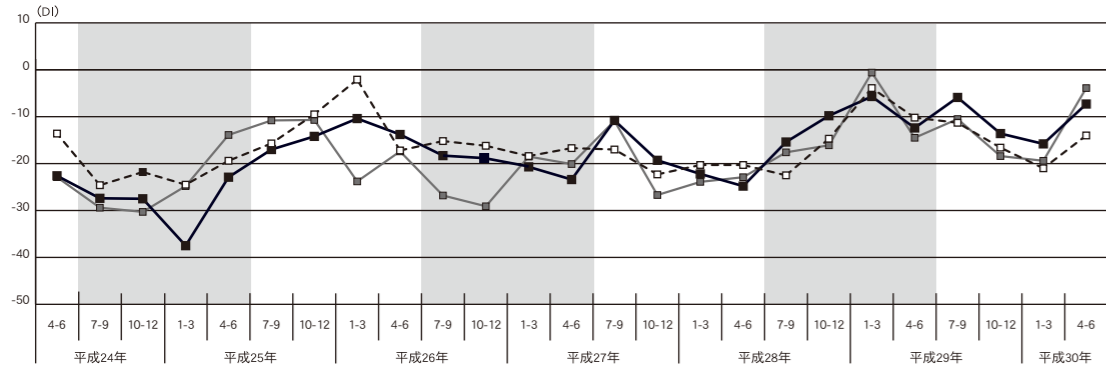


鶴岡商工会議所 景況調査

平成30年4～6月期

*調査対象:会員事業所266社 *回答数:159社(回答率59.8%)

●業況DI(全業種)



●今期(平成30年4-6月)水準では、前回調査(平成30年1-3月)に比べ、8.5ポイント改善し、▲7.3となった。
●対前年同期(平成29年4-6月)は7.0ポイント改善し▲14.0となり、5期ぶりに改善傾向となった。来期(平成30年7-9月)見通しは15.7ポイント改善し▲4.0となり、平成29年3月調査に次ぐ高数値となった。

●経営上の課題

建設業

前回調査に引き続き、「従業員の確保難」が突出しており、次いで「熟練技術者の確保難」・「下請業者の確保難」が続いている。依然人材確保が引き続き課題となっている。60歳を過ぎてからも雇用継続するなど対応するも、見通しがたかないとの声あり。物流経費(運賃)の値上げが重くのしかかっているとの声もあった。

製造業

前回同様、「従業員の確保難」が最も多く、次いで「原材料価格の上昇」、「生産設備の不足・老朽化」が挙げられた。人員募集しても集まらず、生産増強が厳しい、人手不足が益々深刻化しているとの声があった。

卸売業

「需要の停滞」・「販売単価の低下・上昇難」が挙げられ、次いで「仕入単価の上昇」となっている。品物全般に渡り仕入価格が上がり、苦慮しているとの声あり。

小売業

「人件費の増加」・「従業員の確保難」が挙げられ、「消費者ニーズの変化への対応」、「仕入単価の上昇」が続く。人手不足が深刻との声がある一方、改善・改良を考えて課題に取り組むとの声もあった。

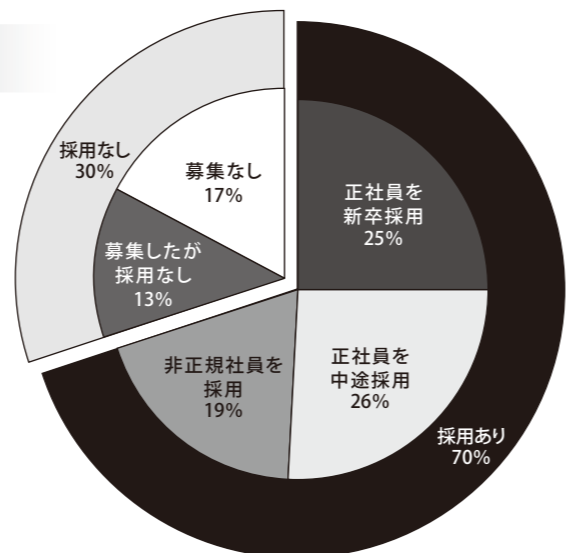
サービス業

前回調査に引き続き「従業員の確保難」を挙げており、次いで「利用者ニーズの変化への対応」、「店舗施設の狭隘・老朽化」が続く。若手正社員の応募がないとの声あり。

付帯調査 平成30年度採用状況

平成30年度の採用状況は、【全業種】で見ると、「正社員を新卒採用」が25%、「正社員を中途採用」が26%、「非正規社員を採用」が19%と、70%が何らかの形態で採用したと答えた。一方で、「募集したが採用できなかった」と答えた企業が13%あった。

* 詳細は、当所HP内「各種統計データ」をご覧ください。
(グラフは全業種のデータです)



鶴岡市 経済動向資料 について

鶴岡市の経済に関する資料をまとめ「鶴岡市経済動向」として公開しています。地域経済の動きを知るための一資料としてご利用ください。



QRコードから
ダウンロード

*詳細は、当所HP(<http://www.trcci.or.jp>)内「各種統計・データ」をご覧ください。

制度活用例

小規模事業者持続化補助金・鶴岡TMO繁盛店づくり支援事業

●事業所の紹介
明治の時代より「かもじ」(日本髪を結う際に自髪の足りない部分を補う添え髪・義髪)の製造と髪油、食紅などの販売を行っていたことから「かもじ」の愛称で親しまれてまいりました。現在は、資生堂の最上級ブランドを含めた化粧品や生活小物の販売とエステやメイク、カウンセリングなどを営んでおります。また、県内では唯一歌舞伎や演劇の舞台化粧用品も取り扱っております。

●補助金等の活用内容
現在、六代目と七代目で経営し、母娘二代がそれぞれのお客様を担当しております。七代目に事業を承継するにあたり、店舗環境を整えてスムーズにバトンを渡してやりたいと考えています。



六代目 高橋千穂さん(左)、七代目 夏子さん(右)
鶴岡市本町一丁目5-16 TEL.0235-22-1120
営/9:30~18:30(金19:00、日・祝18:00) 休/水曜日

女性の笑顔は、まわりの人にも元気をくれます!
有限会社かもじ化粧品店



①ふで文字でディスプレイにひと工夫
②ファサードも一新、モダンな印象に

●今後の取組や目標
お客様の美と健康のお悩みを解消し、ご満足いただける商品とサービスをリアルタイムに提供してまいります。また、お客様お一人一人に合ったご提案、化粧品の効果を感じていただける正しい使い方を伝え、キレイと笑顔のお手伝いをさせていただきます。

たところ、持続化補助金を活用したという知り合いの話を聞きました。申請するにあたり、会議所の方より指導をいただきながら何とか採択を受け、店舗ファサードの整備と店舗内の改修等を行いました。補助金の活用で店舗の環境が改善されたのはもちろんですが、事業計画を立てるにあたり、これからのことを家族で話し合う時間が増えてきたこと、また経営に対する視点が変わったことは一番の成果と感じております。「繁盛店づくり支援事業」にも参加し、ウインドウ内の見せ方や商品のディスプレイ等について専門家の指導を受けることができました。



技術者ネットワーク講演会・ 第6回 日本海沿岸工業部会交流懇親会

9月3日(月) 会場:グランドエル・サン 参加者:70名

システムインテグレーションを行なうミツイワ(株)スマートファクトリー推進部長 泉貴史氏(東京、日本で唯一ロボットレンタル事業を行なうオリックス・レンテック(株)仙台支店長 西川文敏氏(仙台)や、またロボット研究会事務局の山形県工業戦略技術振興課 主査 大場智博氏を講師に迎え、ロボット導入をテーマとした講演会を開催した。

ミツイワ(株)からは、局所的な課題の解決でロボットを導入するのではなく、業務全体の最適化を目的として導入することが重要。そのためには、「RPA(リッパス)」と呼ばれる導入プロセスの様式に従い、現在の課題や予算等の「基本情報」や、ロボット導入後を想定した要求品質や運用体制等の「概略提案」を、事業所と導入支援企業双方で共有することが重要であると学んだ。

オリックス・レンテック(株)からは、事業概要や取扱いロボットの紹介、レンタルするメリットを学んだ。また、デモ機として、日本電産シンボ(株)の追従運搬ロボット「HOUZER(ハウザー)」を持参いただき、デモンストレーションを行った。

山形県からは、ロボット導入支援メニューや、県工業技術センターにおける人材育成事業等、県の取組みを学んだ。

講演会終了後は、酒田商工会議所・第6回日本海沿岸工業部会合同交流懇親会を開催した。